

都心からいちばん近い  
自然があるこの町で

東京／奥多摩



東京都の最西端に位置する奥多摩町。  
全域が秩父多摩甲斐国立公園に囲まれ、  
東京とは思えない豊かな自然が広がっています。  
都会で生まれ育った私が今、  
この町で暮らしている。

奥多摩町





## ここでの生活

奥多摩に来て、もう半年が経とうとしています。こんなに長くいるつもりはなかったのに、居心地が良すぎて23区内に帰れなくなってしまいました！そもそもなんで奥多摩に来たのかというと、簡単に言ってしまうと、田舎に住んでみたかったから。ただそれだけです。田舎に住みたかったのは、都内だけでなく、「地方で就職」という選択肢も持ちたかったから。将来働く場所を見つけるために、まずは一度も暮らしたくない田舎に住んでみよう、という考えからでした。

サイトへの登録、就活の流れの確認、インターン情報の収集、大まかな企業分析など、とりあえず今できそうなことを片っ端から調べ……。その甲斐あって、「就活の大まかな流れ」については理解できました。でも、自分がどんな企業で何をしたいのかは、よくわからないままでした。わからないなら後回しにして、まずは住みたい場所を決めよう！と謎に方向転換しました。この時の私は、住みたい場所が決まれば、自然とやりたいことが絞れてくるのではないかと、勝手に思いこんでいたのです。（実際は、やりたいことが増えすぎてしまっただけで、絞れませんでした！）

切だったということです。今までは、大学に通ってバイトして、を繰り返して、同世代や決まった人としか会話をしていないことが当たり前でした。それが、ここに来てから都会で暮らしていたときよりも、幅広い人たちと関わることが増えたのです。奥多摩にいて、大人の方と話すとき、「将来何がしたいの？」とよく聞かれます。「いろいろ迷っていて、何がしたいのかわからない」と話すと、「こんな生き方もあるよ！」という話を聞かせてもらえます。

ハウス」を自ら作り、自分の好きな空間を奥多摩で作った人……。そんな面白い人の今やこれからの話を聞いていると、「おもしろそう！そういうことやってみよう！」と思うことが増えていきました。それらをヒントに、私には何ができるだろうと考えたりもします。これからのことを考えられるようになったのは、私もやりたいことを見つけた第一歩を、踏み出した証なんじゃないかなと思います。

今思うと3年生になりたての時は、早めに就活しなきゃ出遅れちゃうと、焦っていたのかもかもしれません。ほかの人より時間はかかってしまうけど、焦らず、就活を進めようと思います。とりあえず、もう少しだけんびりしながら、奥多摩で暮らしてみようかな。

05 01 ぶらぶら散歩してたら、きれいな紅葉が。02 奥多摩の隣駅にある「白丸ダム」。橋から見える景色が最高なんだ。03 橋を渡っていたら隙間から緑が見えた……。足元注意。04 川にも08 04 秋を感じる。05「氷川小橋」の紅葉も素敵。06 洗濯物を干している最中。07「氷川渓谷」に続く階段。夏は週5で川に行っていたなあ。08 今住んでいる家。紅葉が良い感じ。



photo



上 氷川小橋から見た紅葉と氷川大橋。奥多摩は橋がいっぱいある。  
下 奥多摩総合運動公園。基本、人がいなくて、静かに本が読める場所。





# ちょっと離れた場所

ほかの駅にも  
自然がたくさん。

# 奥多摩駅周辺

私がよく行ってる  
好きなおとこ。



## 白丸湖

JR 青梅線白丸駅から徒歩2分  
ほど。奥多摩からは徒歩約40  
分で着きます。



01  
白丸湖は、白丸ダムで多摩川をせき止めてできた人工湖です。夏や、紅葉シーズンになると、カヤックやSUPなど水上アクティビティが盛んにおこなわれるスポットに。白丸湖の水面が気候や時間帯によって、エメラルドグリーンになることもあります。湖に反射された山の緑や紅葉の色が映し出され、幻想的な景観が広がります。

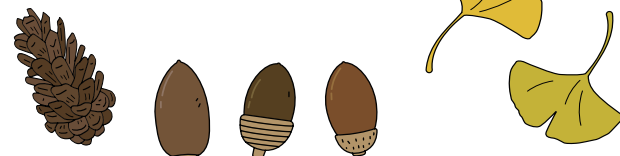


02  
鳩ノ巣渓谷は、多摩川が秩父古生層を侵食して作り上げた渓谷なんだそう。道路から約40m断崖の下、巨岩・奇岩の間を流れる姿は壮大です。鳩ノ巣渓谷周辺に、渓谷が一望できる「絶景カフェぽっぽ」があるので、立ち寄ってみてください。



## 鳩ノ巣渓谷

奥多摩駅から2駅離れた場所にある。奥多摩から歩いても行けるので、トレッキングにも。



左 氷川渓谷から見える赤い橋が昭和橋。右 石を積んでみた。

## トロッコ

今でも現役で走り続けている「奥多摩工業曳鉄線」。このトロッコで、石灰岩を運んでいるらしい。平日の午前中に動いていることが多い。奥多摩工業氷川工場を抜けると、トロッコにたどり着けます。



## 奥多摩むかし道

03  
「奥多摩むかし道」は、旧青梅街道と呼ばれていた道で、氷川から小河内に達する道です。今では、奥多摩駅から奥多摩湖を3時間～4時間かけてハイキングできるコースとして使われています。道中に、廃線トンネルや、滝などがあるので、見つけてみてください。



# 関東地方



茨城県東南地域に位置する。霞ヶ浦の帆引き船と花火をモチーフにしたデザイン。「土浦全国花火競技大会」が毎年開催されており、約25,000発が空を埋めつくす。



茨城県東南地域に位置する。年に2回しか見ることができない、筑波山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を、鮮やかなグラデーションで表現。



群馬県の県庁所在地・前橋市。描かれた赤城山は日本百名山のひとつで、山頂にある大沼湖畔はキャンプやボート、ワカサギ釣りなどを楽しむことができる。



埼玉県南東部に位置する。子どもたちに親しまれている越谷特別市民「ガーヤちゃん」と越谷市の夏の風物詩「南越谷阿波踊り」のコラボデザイン。



千葉県北部中央に位置する。多くの人思いを描く「飛行機が飛ぶ街」のイメージと成田国際空港周辺の7つの市町を表現したデザインとなっている。



千葉県北西部に位置する。さまざまな季節やイベントで楽しめ、散歩やボート、鳥や草木など自然と触れ合える手賀沼を基調としたデザイン。



千葉県北西部に位置する。さくら通りのさくらと本土寺の紫陽花、矢切の渡しがデザインされており、松戸市の自然や風景の魅力が伝わるものとなっている。



千葉県北西部に位置する。市川の象徴である梨、都会の街並み、自然代表としての江戸川を盛り込んだデザインにすることで、住みよい街並みを表現している。



千葉県北西部に位置する。アンデルセン公園と船橋の特産品である梨をデザインしており、地域への愛着を持ってもらえるものとされている。



千葉県中央部に位置する。菜の花と里山トロッコをデザイン。可愛らしいさえずりや、汽笛の音が聞こえてきそうな美しい市原の春の風景が描かれている。



多摩川沿いの緑地から、下北沢にかけて広がっている世田谷区。多摩川とサギソウという花がデザインされている。



東京都区部西部に位置する。コンセプトは「杉並続きみどりいっぱいのみち」。杉並区のキャラクター「なみすけ」と、その妹「ナミー」があらわれている。



東京都区部東部に位置する。伝統が息づく街、変化し続ける街、そんな魅力ある街の象徴として東京ゲートブリッジをデザイン。



東京都区部北部の荒川沿いに位置する。区の木「ケヤキ」、花「ニリンソウ」、鳥「ハクセキレイ」をモチーフに、個々の要素を地模様にして表現。



東京都区部北東部に位置する。ナンバープレートのモチーフは菖蒲・川・カワセミ。江戸川、中川、荒川と、水辺に咲く菖蒲とカワセミをテキスタイル風に表現。



山梨版の富士山図柄入りナンバープレート。葛飾北斎の浮世絵「富嶽三十六景」のひとつで、朝焼けに染まる赤富士が描かれた「凱風快晴」をアレンジしたもの。

# 北陸信越



県庁所在地の新潟市等で使用。萬代橋の夕焼けと羽ばたくトキで新潟らしさを表現。きれいな夕焼けが印象的だ。



新潟県中南部に位置する。夜空に打ち上がる3つの花火で、長岡、片貝、柏崎の「越後三大花火」を表したデザインとなっている。



新潟県南西部に位置する。地域のシンボルとして、上杉謙信、桜、妙高山、日本海、ヒスイが描かれている。



富山県全域が対象。富山湾越しの立山連峰とライチョウがモチーフとなっており、豊かな自然がシンプルに表現されている。

# 一気見せ！「ご当地ナンバープレート」

## 北海道から九州まで全58地域を紹介

2006年、観光PRやまちおこしのために始まった「ご当地ナンバープレート」。国が交付するナンバープレートに表記されている地域名表示に、地域の景色や風物、ゆるキャラなど、さまざまな趣向を凝らしたプレートを作成し、瞬く間に人気に。今では街で見かけることも多い。しかし、「知っているのは、自分の地元のナンバープレートぐらい」「ほかの地域は知らない」という人もいるのではないだろうか？そこで今回は、全58地域の「ご当地ナンバープレート」を一挙大公開！「ご当地ナンバープレート」と同時に、その街のことも知ってみよう！



## 北海道



世界自然遺産にも登録され、絶滅危惧種や希少な動植物が分布している知床半島を構成する斜里町と羅臼町をはじめ、知床周辺の自治体、合計7町が対象。



苫小牧はアイスホッケーが盛んな街。ラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖とアイスホッケーのスティックとパックなどが描かれている。



能取岬（網走市）

## 東北地方



原敬や石川啄木の生まれ故郷でもある、岩手県中部に位置する県庁所在地。岩手山を背景に、「みちのくの小京都」を表現したもの。



宮古市、花巻市、北上市、遠野市、釜石市、陸前高田市、大船渡市などの市町村で交付される。宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」をモチーフにしたデザイン。



岩手県南西部に位置する平泉町。2011年、世界遺産に登録されており、中尊寺金色堂内の装飾のように、子ども達の未来が世界へ羽ばたいてほしいとの思いを表現。



宮城県の県庁所在地。国内外の観光客を魅了している「仙台七夕まつり」と、青葉城址から仙台を一望している伊達政宗公の騎馬像を組み合わせたデザイン。



山形県の県庁所在地で、中核市に指定されている。さくらんぼは山形の代名詞であり、生産量は日本一とされている。



庄内平野を中心とした山形県の日本海沿岸地域。特にお米が有名で、日本書紀にも「我国はみずみずしい稲穂を産する美しい国」と書かれるほど。稲穂の波と鳥海山をデザイン。



淡いピンク色の桜と、津軽地方のシンボル岩木山、弘前城が描かれ、弘前らしさを際立たせているデザイン。毎年4月～5月に、「弘前さくらまつり」が開催される。



白河だるまや小峰城などがデザインされた白河地域のご当地ナンバープレート。福島県南部の白河、西郷、泉崎、中島、矢吹の5市町村が対象。





山口県西部にあり、本州最西端に位置する下関市。関門橋をメインに花火、海峡ゆめタワー、赤間神宮をアイコン化したデザインとなっている。



地域を代表する錦帯橋と秋吉台に、山口県PR本部長「ちよるる」をあしらったデザインで、下関市を除く18市町で交付されている。



角島大橋（山口県下関市）

## 四国地方



徳島の伝統文化として世界に誇る「阿波踊り」とジャパンプルーとして注目を集める「藍」がモチーフになったナンバープレート。



四国北東部にある香川県。瀬戸内海と瀬戸内海に位置する小豆島が発祥のオリーブがデザインされている。



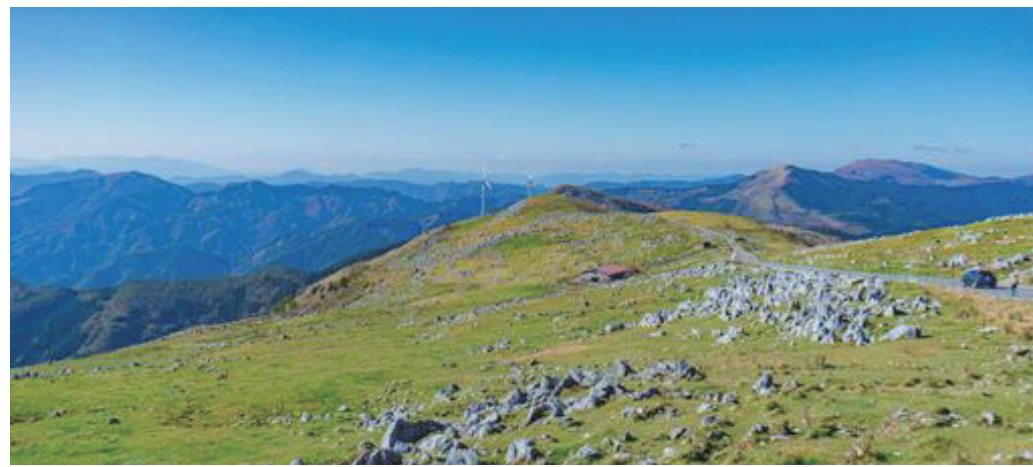
香川県の県庁所在地であり、中核市に指定されている高松市。瀬戸内海と屋島をイメージしており、地元愛溢れるデザインとなっている。



四国南部にあり、美しく豊かな自然に恵まれている高知県。全国一の消費量を誇るカツオと、よさこい節のフレーズにもなっている、はりまや橋が描かれている。



四国の北西部一帯と瀬戸内海に浮かぶ小さな島々で構成される愛媛県。国内でダントツのシェアを誇るみかんと、同県のゆるキャラ「みきにゃん」が描かれている。



四国カルスト（愛媛県と高知県との県境）

## 九州地方



「長崎」と「佐世保」は共通のデザイン。スタンドグラスの中に大浦天主堂や平和祈念像、ハウステンボスの風車などが描かれている。



薄い水色のバックに、加藤清正や細川家の家紋があしらわれており、中央に白い「くまモン」のシルエット、そして右端にちよこつと「くまモン」が覗いているデザイン。



「日本のひなた宮崎県」をテーマに、実施したアンケート調査で上位となった南国を彷彿させる「ひなた」、「海」が描かれたかわいらしいデザインになっている。



別府温泉をはじめとする温泉地で知られている大分県。県民アンケートで最も投票数の多かった、「おんせん県おいた」のロゴ入りデザインを申請、決定した。



九州南端にある鹿児島県。鹿児島島のシンボルとして知られている桜島が描かれていて、雄大なデザインのナンバープレートとなっている。



軍艦島（長崎県長崎市）



石川県の県庁所在地。加賀藩の梅鉢紋と冬の風物詩である雪つりで、金沢市と隣接するかほく市、津幡町、内灘町の2市2町に共通するモチーフとしている。



石川ナンバー地域の15市町（金沢市、かほく市、津幡町、内灘町を除く県内市町）で導入。能登の里海の波で、石川県のかたちをなぞらえたデザインとなっている。



雨晴海岸（富山県高岡市）

## 中部地方



本州中部に位置し、日本海に面している県で、勝山市で発見された肉食恐竜「フクイラプトル」の骨格化石をデザインしている。



静岡県版の富士山図柄入りナンバープレートは、裾野市、御殿場市、小山町、富士市、富士宮市で使用。富士山と美しい花々、潤いある田園風景をイメージ。



愛知県北部に位置する豊田市を象徴する「豊田スタジアム」、名古屋グランパスエイトのマスコットキャラクター「グランパスくんファミリー」をデザイン。



伊勢市は三重県南東部に位置し、赤と青の風が伊勢神宮の鳥居をくぐり志摩半島に多くのパワーや魅力が吹き渡る様子をイメージしている。



四日市（よっかいち）市は、三重県北部に位置し、「工場夜景の美しさ」と四日市市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」が描かれている。



愛知県の北西部に位置する春日井市のマスコットキャラクター「道風くん」と、特産品であるサボテンのキャラクターが描かれている。

## 近畿地方



琵琶湖と湖に浮かぶ島をイメージしたもので、県の鳥「カイツブリ」や湖魚、手裏剣も小さく描かれている。



デザインコンセプトは、府域の75%を占める山と日本三景の天橋立、京都をイメージしやすい五重塔を伝統的な花柄で織り込んだもの。



桜や紅葉、五重塔やシカなどが描かれ、落ち着いた色合いで奈良らしさを表現したデザインとなっている。



交付対象地域は、奈良県三宅町・田原本町・橿原市・高取町・明日香村。四神の朱雀をモチーフとしており、力強く羽ばたく様子を明るいオレンジ色で表現。

## 中国地方



見た人々に鳥取のナンバープレートとわかってもらうため、観光地として有名な鳥取砂丘を大きくデザイン。その他には、梨、空、大山をイメージした絵柄に。



広島県東部の竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市などが対象。「広島東洋カープ」とコラボレーションしたデザインで、ファンにとってはたまらない。



島根県中東部にある出雲市が奥出雲町・飯南町とともに導入。出雲神話に登場する八岐大蛇を、虹をイメージしたカラーで表現している。